

平成 29 年度 第 3 回苫小牧市男女平等参画審議会会議録（概要）

- 1 日 時 平成 30 年 2 月 9 日（金） 14：00～15：00
- 2 場 所 苫小牧市民活動センター3 階 講習室
- 3 出席者 審議会委員 10 名
市民生活部（部長、男女平等参画課長、課長補佐、主査、主任主事）
- 4 傍聴人 なし
- 5 記 者 苫小牧民報社
- 6 議事概要

（議題 1）苫小牧市男女平等参画基本計画（第 3 次）（案）について

【質問】

26 ページの若年層に対する予防啓発について、中学校から依頼を受けて出前授業を行う形をとっているが、依頼ではなく全校実施をするようにできないのか。

【回答】

出前授業を始めた頃はまだ理解が進んでいなくて、生徒には早いのではないかと
いった声もあったが、熱心な講演やアンケートから読み取れる実施効果から実施校
数は増えている。平成 30 年度はさらに実施予定校数を増やすので、実施効果につい
てお知らせしながら、学生が聞き漏らすことのないようにしていきたい。

【意見】

できれば、中学 2 年生に授業の一環として義務化するなどしてほしい。

【質問】

現在も啓発活動をしていると思うが、身体的暴力以外のDVの認識が薄いと思う。
子どもがDVについて学んできて、親の知識・理解不足により、予防啓発に繋が
っていないのではないかと。大人、親向け、家庭内への啓発が必要なのではないかと。
親がそのような環境だと、子どもはそんなものだと思ってしまうのでは。

【回答】

DVは身体的暴力だけではなくと認識することが重要。公共施設のトイレにリー
フレットを設置したり、それ以外でも機会を捉えて配布したり、男女平等参画推進
センターで人権講演会を行ったりしている。これからもいろいろな方策を考えてい
きたい。

【意見】

審議会委員から周りの方々にリーフレットがあることを教えてほしい。本人はD
Vかもしれないとは気づかないで、それが当たり前だと思っていることがあるので。

【質問】

26 ページの数値目標の「デートDV防止出前授業の中学校の実施校数」について、市内全体だと何校になるのか。

【回答】

市内全校で 15 校となる。

【質問】

市内全校でデートDV防止出前授業を行うことを目標としているのであれば、数値目標のデートDVを知っている中学生の割合の目標値は少ないのではないかと。

【回答】

現状値については、市民意識調査を行った時期が早かったことが関係していると考えられる。目標値については再考したい。

【意見】

言われたことがDVだと気づかないことがある。DVについて短くビデオにまとめたものを見たことがあり、子育てサークルなど若いお母さんが集まるところに貸し出しするようなシステムを作れば、自分の置かれた現状を見つめ直すことができるのではないかと。

【質問】

49 ページの介護支援いきいきポイント事業について、数値目標の分母はどのくらいの人数なのか。

【回答】

介護支援いきいきポイント事業の対象者は 65 歳以上の方であり、分母としては大勢いる。本事業は社会福祉協議会で行っており、登録者数を増やすことはもとより、ボランティア活動の内容と受入側とのマッチングが重要である。今後もいろいろな試みを行いながら取り組んでいくこととなる。

【質問】

個人的な活動として絵本の読みきかせをしている。高齢者施設での活動依頼が多く、昔話の紙芝居等を行うことが増えていて、行くと喜んでいただける。個人のボランティアとして行っていて依頼は増えていると思うが、市として周知してはどうか。

【回答】

施設では音楽を聴いていただくとか、いろいろな取り組みが行われているほか、

地域の方々が集まって情報交換をしている。介護支援いきいきポイント事業とは別だが、良い取り組みは関係課を通じて広めていきたいと思う。

【意見】

出前講座は教育の時間の穴埋めとして使われることもある。講座を行ったことがあるが、大学生の場合は出席さえすればよいという姿勢を感じることもある。出前講座の内容は生徒のために重要なことであると認識してほしい。

【意見】

人権擁護委員では小学校のいじめ問題に取り組んでいる。相談事を書面でやりとりする物を小学校、中学校に配っており、私たちはそれに返事を書いている。いじめにはこういうものもある、見ている人もいじめなんだよ、ということを伝えている。デートDVについても早くから知っておくと、後々理解しやすくなると思う。

【意見】

民生委員をやっている。DVについての話を学校の中でもしているとは思いますが、まだ良い状態とはなっていないと思うので、進めていただきたい。

【意見】

計画の中では現状を把握しながら施策を立て、目標も数値化されている。数値にこだわりすぎないで進めていくことも大事であると思う。計画が絵に描いたもちにならないように進めることを望んでいる。

【意見】

行政も大変、学校も大変な状態であると思う。地域の中でも取り組む必要があり、すべてを学校にということではなく、バランスをとりながら取り組んでいくことが大事だと思う。男女平等参画もいろいろな視点があった方が良いと思う。男性が女性を、あるいは女性が男性をということだけではなく、バランスが重要であると思う。

【意見】

出前授業等は実施すればそれで良いというものではないと思う。